

株式会社レンタス

ニコニコレンタカーの予約システム、OSサポート切れに伴いサーバーリプレースを実施

全国に1,450のフランチャイズ店舗を構え、日本最大のネットワークを持つレンタカーチェーンであるニコニコレンタカーでは、毎日膨大な量のデータ転送が発生しています。そのデータ転送を支えていたのは「さくらの専用サーバ」でしたが、導入から7年以上が経過したほか、サーバーOSのサポート終了が決定したことでサーバーリプレースを検討。採用したのは「さくらの専用サーバ」を高機能化したリニューアルサービス「さくらの専用サーバ PHY（ファイ）」でした。他社クラウドも候補の1つとなっていました。サポートの手厚さから後継サービスを選択したといいます。

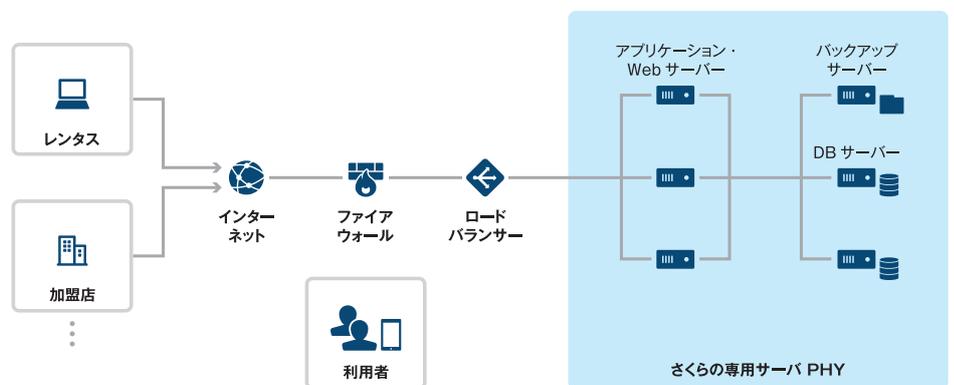
レンタカーを安く提供できる「格安レンタカー」として名前が知れ渡る

ニコニコレンタカーのサービス提供開始のきっかけは、ガソリンスタンド事業からの波及としてお客様が車検に出す間の代車手配業務を行っていたのがスタートです。

車検のトップシーズンは毎年3月で、その時期に合わせて代車を保有していましたが、それ以外の時期もその代車をレンタカーとして有効活用しようと考えたことからニコニコレンタカーが立ち上がりました。

ニコニコレンタカーの特徴は、店舗の7割がガソリンスタンドとの並業スタイルを取っていることです。そのため、大きな追加投資をしなくてもレンタカー業を運営できるのが最大のポイントとなります。

そのため、大手自動車メーカー系のレンタカー会社よりも、レンタカーを安く提供でき「格安レンタカー」として名前が知られるようになりました。「これ



までは、中古車を格安レンタカーとして提供していました。ただ最近ではニコニコレンタカー自体の知名度も向上し、お客様からは品質の高さを求められることもあり、新車や販売から3年以内の高年式低走行車も増やしています」とMICの古賀英太郎氏（企画開発チームWeb担当）は語っています。

OSサポート切れによりリプレースをさくらの専用サーバPHYに

ニコニコレンタカーのシステムの構築を担当しているのは、システムやソフトウェアの受託開発を行っている株式

会社グローバルコミュニケーションズです。同社では以前からMICやホームネットワークのシステム構築を担当しており、ニコニコレンタカーのシステムも立ち上げ当時から担当していました。

ニコニコレンタカーでは、2014年にも「さくらの専用サーバPHY」の前身である「さくらの専用サーバ」へサーバーリプレースを行いました。それから7年以上が経過しサーバー自体が古くなり、スペックと価格の費用対効果が下がりがつつあり拡張性も低いと感じるようになったそうです。

そこで新たなサーバーリプレースを

導入前の課題

- サーバー自体が老朽化している
- サーバーの拡張性が低い
- サーバーOSのサポート終了が決定

導入後の効果

- 最新のさくらの専用サーバPHYを採用
- 高機能化することで拡張性を獲得
- サーバーOSをバージョンアップ対応

考えるようになったといいます。「『さくらの専用サーバ』で運用していたOSはCentOS 6だったのですが、このOSが2020年11月30日でサポートが切れてしまうこともサーバーリプレイスを検討した理由の1つです」とグローバルコミュニケーションズの永吉康朗氏（代表取締役）は説明します。

ただし、ニコニコレンタカーのサーバーリプレイスは「さくらの専用サーバPHY」ありきだったわけではありません。大手の他社クラウドサービスも候補として上がっており、クラウドに載せ換えた場合にはどのような構成になるのか、拡張性はどうか、コスト面ではどう変わってくるかといったことをグローバルコミュニケーションズでは調べていきました。「ニコニコレンタカーのWebサイトは1ヵ月あたりの予約数が15万～16万件とデータ転送量が膨大なWebサイトです、そのためにスペックが高めの物理サーバーを使っていました。『さくらの専用サーバ』のCPUコア数とメモリ数を単純にクラウドに当てはめると、コストが大きく跳ね上がったのです。そこでその大手クラウドは候補から外れました」（永吉氏）。

高機能化のほか、サポートの手厚さがリプレイスの決め手に

グローバルコミュニケーションズが「さくらの専用サーバPHY」の採用を決めた最大の理由は「さくらの専用サーバPHY」の高機能性でした。「長らく運用していた『さくらの専用サーバ』と比べてみると『さくらの専用サーバPHY』は格段に機能が高まっていると思います。例えば、コントロールパネルで操作できることが多くなったり、ネットワーク構成の自由度が上がったりしたことが挙げられます。その他、ネットワークのスイッチや電源まわりが冗長化され、安定稼働につながるようになったり、さまざまなサーバー操作がAPIで行えるようになったりしています。これらが魅力に感じました」（永吉氏）。

ご担当者の声



株式会社 レンタス

<https://www.2525r.com>

住所 神奈川県横浜市港北区新横浜
2-6-1 アーバス新横浜8F
資本金 2,000万円
事業内容 ニコニコレンタカーのFC展開を通じて、地域密着型の「生活レンタカー」事業を展開



株式会社 MIC 企画開発チームWeb担当
古賀英太郎 氏

ご担当者の声
「さくらインターネットのサポートレベルの高さは伺っていますので、これからも引き続き、ニコニコレンタカーをご支援いただければと思います」



株式会社グローバルコミュニケーションズ 代表取締役
永吉康朗 氏

ご担当者の声
「『さくらの専用サーバPHY』は導入途中ですが、コントロールパネルだけである程度まで完結できますし、ドキュメント関連の充実度が高いことから『さくらの専用サーバ』よりも構築しやすいですね」

サーバーリプレイス先に「さくらの専用サーバPHY」を選定した理由のうち1つとして、さくらインターネットのサポートが手厚く運用しやすいところもありました。

サーバーに不具合が発生してさくらインターネットに対応を依頼すると「今はこういう状態なのでいつくらいまでできそうです」など、状況を逐一報告してもらえるので、運用する側としても助かる部分がたくさんあるといいます。「サーバーのストレージに不具合が発生したときにはすぐに検知していただき、1時間もかからずにストレージを交換してもらいました。ダウンタイムがほとんど発生しない対応にはとても助かっています」と永吉氏は説明します。

ニコニコレンタカーにも適用できる新たなサービスのリリースに期待

ニコニコレンタカーのサーバーリプレ

イスは段階的に行っていく予定です。4段階に分けて移行しようと計画されており、最終的には2022年夏に移行が完了する予定です。「さくらインターネットは常に新しいことにチャレンジしている印象があります。この方針をこれからも続けていただき、ニコニコレンタカーにも適用できるような新たなサービスのリリースに期待をしています」（永吉氏）。

ニコニコレンタカーは、ガソリンスタンドの店舗数が1994年度の6万421店をピークに、2019年度には2万9,637店まで減っている現状に危機感を抱いているといいます。この変化に負けないよう、大手レンタカーチェーンとは異なる身近な「生活レンタカー」として、引き続き今後も安価に提供していくことを同社の今後の展望としているとのことでした。

ご紹介したサービス

▶ さくらの専用サーバ PHY

お問い合わせ、資料請求 本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

さくらインターネット株式会社

【大阪本社】 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-12-12 東京建物梅田ビル 11F
【東京支社】 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル 32F
【福岡オフィス】 〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL eigyos@sakura.ad.jp ▶ TEL 0120-380397【受付時間】 平日10:00～18:00（土日・祝祭日を除く）